

2024年3月

お客様各位

一般財団法人日本食品分析センター

スクラロースの分析方法等変更のご連絡

拝啓 平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

この度、分析試験項目「スクラロース」について、分析方法の変更を予定しております。スクラロースについては、令和5年5月29日「食品中の食品添加物分析法について」（平成12年3月30日付け衛化第15号厚生省生活衛生局食品化学課長通知）の別添「第2版 食品中の食品添加物分析法」に分析法及び確認分析法が追加され、同年9月6日には、国立医薬品食品衛生研究所より「食品中の食品添加物分析法の妥当性確認ガイドライン(案)」が公表されました。

弊財団では、このガイドラインに従い、スクラロースについて質量分析計を用いた分析方法の検討、妥当性の確認を実施し、新たな分析方法を確立いたしました。分析方法等につきまして、下記のとおり変更いたします。なお、納期・分析料金に変更はございません。

今後とも一層の技術向上に注力し、皆様のお役に立つよう努力を重ねて参ります。何卒ご理解賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

敬具

記

1. 変更内容

	変更前	変更後
分析方法	高速液体クロマトグラフィー	液体クロマトグラフィー質量分析法
結果単位 ^{*1}	g/100g	g/kg
定量下限 ^{*2}	0.001 g/100g	0.01 g/kg

*1 スクラロースの「食品中の食品添加物分析法」収載に伴い変更いたします。

*2 単位が変わるため、定量下限の数値桁数表記が変わりますが下限値に変更はございません。また、報告値は有効数字2桁表記(結果が0.01~0.09の場合は1桁)となります。

2. 変更時期

2024年4月1日受付分より変更いたします。

3. 本件に関するお問合せ先

一般財団法人日本食品分析センター

多摩研究所 衛生化学部 添加物試験課

担当：早川賢治，吉田美佳

TEL：042-372-6715

Email：aas_inquiry@jfri.or.jp

以上